

設備更改プロジェクト（JP5版）
ガイドライン
【移行作業編】
v1.0.3



2026年3月26日
NTTドコモビジネス株式会社

更新履歴

つながり。驚きを。幸せを。



版数	更新日	更新内容
1.0.0	2025年10月23日	<ul style="list-style-type: none">初版作成
1.0.1	2025年11月28日	<ul style="list-style-type: none">本ガイドラインの位置づけ：内容を修正移行スケジュール：内容を追加サービスごとの移行方法について：内容を修正
1.0.2	2026年3月3日	<ul style="list-style-type: none">資料分割本ガイドラインご利用上の注意事項：内容を追加、修正移行作業概要：内容を追加サービスごとの移行方法について：内容を追加、修正
1.0.3	2026年3月26日	<ul style="list-style-type: none">サービスごとの移行方法について：内容を修正

目次

- 本ガイドラインの位置づけ
- 本ガイドラインご利用上の注意事項
- 移行作業概要
- サービスごとの移行方法について
- パターン別移行ステップ
 - ツールを利用して移行するパターン
 - お客様による手動移行のパターン
 - ツールおよび手動移行併用のパターン

本ガイドラインの位置づけ

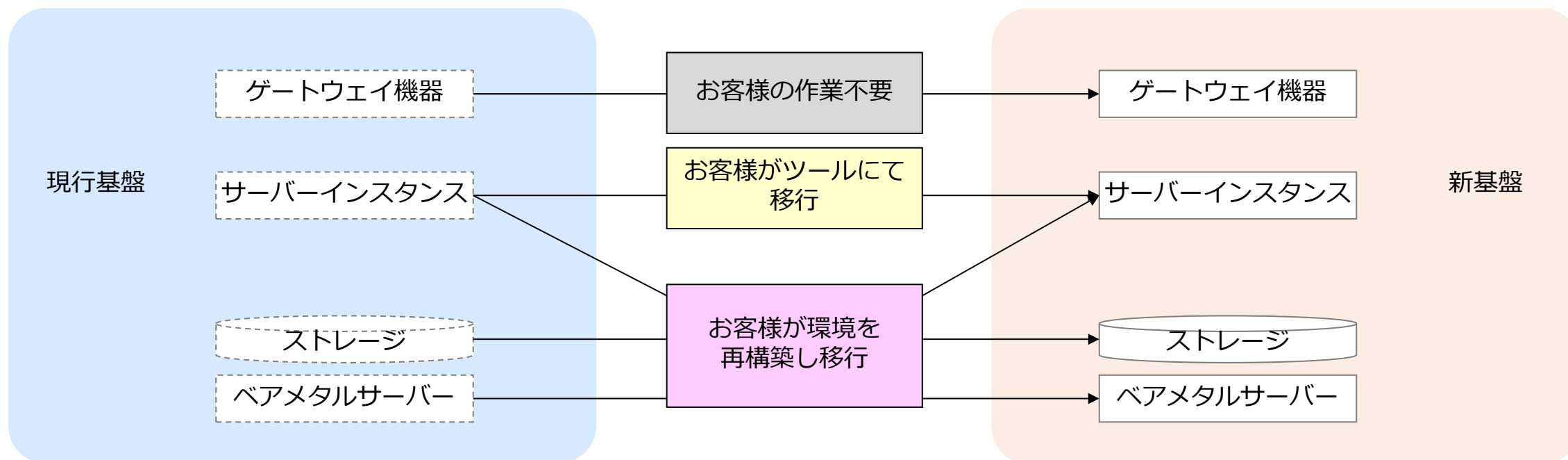
- 既存のSDPF クラウド/サーバー（旧Enterprise Cloud2.0）につきましては提供から10年以上が経過しております。その間、新しいテクノロジーの導入を進めており、2021年6月のJP7からは大容量化等を実現した新基盤にて提供しております。
- JP5につきましてもソフトウェアの更新などを進めておりましたが、各種構成機器およびソフトウェアのサポート期限の問題等から、新基盤へバージョンアップすることとなりました。ご利用中のお客様には安心して引き続きご利用いただくために、新基盤へのバージョンアップのご協力をお願いいたします。
- 本ガイドラインは、設備更改の作業概要について記載しております。

本ガイドラインご利用上の注意事項

- 本ガイドラインは、移行概要の記載を行っております。移行についての詳細は、各詳細手順をご参照ください。
- 各詳細手順は弊社標準環境にて検証済みですが、すべてのお客様環境での動作を保証するものではありません。構成の違い等に留意し、お客様の環境に適した手順への精査・調整をお願いいたします。
- 万が一の事態に備え、作業実施前にはデータおよび設定のバックアップの取得を推奨します。
- 不測の事態が発生した際は、弊社サポートチケットにてお問い合わせください。迅速な連携のため、事前に問い合わせ方法のご確認をお願いいたします。（詳細は設備更改概要編のお問い合わせ方法をご参照ください）
- システムの仕様上、メニューごとの作業順序に制約はございません。お客様の冗長化構成の方針やメンテナンス時間枠に基づき、計画を策定してください。

移行作業概要

- 移行作業については、以下の通りとなります。
- 次ページ以降に、メニューごとの移行方針を記載します。
 - * お客様作業不要で弊社にて移行作業を実施するサービス
(弊社作業については定期メンテナンスとして実施するため、別途申し込みは不要です)
 - * お客様にツールを用いて移行作業をしていただく必要があるサービス
 - * お客様に再構築していただく必要があるサービス (コロケーション接続については物理作業を伴います)



セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■仮想サーバー

構成パターン別の移行方針

各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りとなります。

- ・ 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- ・ 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
Windows server 2012R2	Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025	データ移行
Windows server 2016	Windows Server 2016	リサイズ&リタイプ
	Windows Server 2019 / 2022 / 2025	データ移行
Windows server 2019	Windows Server 2019	リサイズ&リタイプ
	Windows Server 2022 /2025	データ移行
Windows server 2022	Windows Server 2022	リサイズ&リタイプ
	Windows Server 2025	データ移行
Red Hat Enterprise Linux 7 + ELS	Red Hat Enterprise Linux 7 + ELS	リサイズ&リタイプ
	Red Hat Enterprise Linux 8 / 9	データ移行
Red Hat Enterprise Linux 8	Red Hat Enterprise Linux 8	リサイズ&リタイプ
	Red Hat Enterprise Linux 9	データ移行
Red Hat Enterprise Linux 9	Red Hat Enterprise Linux 9	リサイズ&リタイプ
無償OS (Ubuntu、Rocky Linux、CentOS)	無償OS (Ubuntu、Rocky Linux、CentOS) ※移行元と同一OSかつ同一バージョンであること	リサイズ&リタイプ

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■ 仮想サーバー

構成パターン別の移行方針

SQL Serverを含むオフィシャルイメージテンプレートをご利用いただいている場合の各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

- 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
Windows server 2012R2 +SQL Server 2014	Windows Server 2019 / 2022 +SQL Server 2019 / 2022	データ移行
Windows server 2016 +SQL Server 2016 / 2017	Windows server 2016 +SQL Server 2016 / 2017	リサイズ&リタイプ
	Windows Server 2019 / 2022 +SQL Server 2019 / 2022	データ移行
Windows server 2019 +SQL Server 2019	Windows Server 2019 +SQL Server 2019	リサイズ&リタイプ
	Windows Server 2022 +SQL Server 2022	データ移行
Windows server 2022 +SQL Server 2022	Windows Server 2022 +SQL Server 2022	リサイズ&リタイプ

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■仮想サーバー

構成パターン別の移行方針

OracleDBを含むオフィシャルイメージテンプレートをご利用いただている場合の各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

- ・ 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- ・ 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
Windows server 2012R2 +OracleDB-12.1 EE / SE2	Windows Server 2016 / 2019 / 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	データ移行
Windows server 2016 +OracleDB-12.2 SE2	Windows server 2016 +OracleDB-12.2 SE2	リサイズ&リタイプ
	Windows Server 2016 / 2019 / 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	データ移行
Windows server 2016 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Windows Server 2016 +OracleDB-19.3 EE / SE2	リサイズ&リタイプ
	Windows Server 2019 / 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	データ移行
Windows server 2019 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Windows Server 2019 +OracleDB-19.3 EE / SE2	リサイズ&リタイプ
	Windows Server 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	データ移行
Windows server 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Windows Server 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	リサイズ&リタイプ

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■仮想サーバー

構成パターン別の移行方針

OracleDBを含むオフィシャルイメージテンプレートをご利用いただいている場合の各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

- ・ 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- ・ 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
Red Hat Enterprise Linux 7 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Red Hat Enterprise Linux 7 +OracleDB-19.3 EE / SE2	リサイズ&リタイプ
	Red Hat Enterprise Linux 8 +OracleDB-19.3 EE / SE2	データ移行
Red Hat Enterprise Linux 8 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Red Hat Enterprise Linux 8 +OracleDB-19.3 EE / SE2	リサイズ&リタイプ
OracleLinux-7.1 +OracleDB-12.1 EE / SE2	Red Hat Enterprise Linux 8 +OracleDB-19.3 EE / SE2	データ移行

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■仮想サーバー

構成パターン別の移行方針

RDS SALを含むオフィシャルイメージテンプレートをご利用いただいている場合の各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

- 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
RDSSAL Windows server 2012R2	RDSSAL Windows Server 2019 / 2022 / 2025	データ移行
RDSSAL Windows server 2016	RDSSAL Windows Server 2016	リサイズ&リタイプ
	RDSSAL Windows Server 2019 / 2022 / 2025	データ移行
RDSSAL Windows server 2019	RDSSAL Windows Server 2019	リサイズ&リタイプ
	RDSSAL Windows Server 2022 / 2025	データ移行
RDSSAL Windows server 2022	RDSSAL Windows Server 2022	リサイズ&リタイプ
	RDSSAL Windows Server 2025	データ移行

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■ベアメタルサーバー

各OSの移行方針

各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

- ・ 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- ・ 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

※お客様自身で持ち込んだプライベートISOは、本移行手順の対象外となっております。お客様にて適切な移行方針で移行いただく必要がございます。

移行元OS	移行先OS	移行方針
Windows Server 2016	Windows Server 2022	データ移行
Windows Server 2019	Windows Server 2022	データ移行
Windows Server 2022	Windows Server 2022	バックアップ&リストア 6. ベアメタルサーバーのバックアップ&リストア概要および手順 Windows Server2022編 - ユースケース ユースケース Smart Data Platform Knowledge Center
		データ移行

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■ベアメタルサーバー

各OSの移行方針

各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

- ・ 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- ・ 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

※お客様自身で持ち込んだプライベートISOは、本移行手順の対象外となっております。お客様にて適切な移行方針で移行いただく必要がございます。

移行元OS	移行先OS	移行方針
Red Hat Enterprise Linux 7	Red Hat Enterprise Linux 8 / 9	データ移行
Red Hat Enterprise Linux 8	Red Hat Enterprise Linux 8	バックアップ&リストア 2. ベアメタルサーバーのバックアップ&リストア概要および手順 RHEL8.8編 - ユースケース ユースケース Smart Data Platform Knowledge Center
	Red Hat Enterprise Linux 8 / 9	データ移行
Red Hat Enterprise Linux 9	Red Hat Enterprise Linux 9	バックアップ&リストア 2. ベアメタルサーバーのバックアップ&リストア概要および手順 RHEL8.8編 - ユースケース ユースケース Smart Data Platform Knowledge Center
		データ移行
Ubuntu 16.04	Ubuntu 24.04	データ移行
Ubuntu 18.04	Ubuntu 24.04	データ移行
プライベートISO	プライベートISO	お客様自身にて適切な移行方針を策定

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■ハイパーバイザー

各バージョンの移行方針

移行元と移行先のバージョンは以下の通りです。

移行元バージョンが6以前はエクスポート&インポート、移行元バージョンが7以降はオンライン移行で新環境へ移行可能です。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
vSphere ESXi 5.5	vSphere ESXi 8.0	エクスポート&インポート ・パターンB：インベントリ登録解除および登録による仮想マシン移行 ・パターンC：OVFまたはOVAファイルのエクスポートおよびインポートによる移行 1.1.1. vSphere ESXi 8.0環境への移行手順 - ユースケース ユースケース Smart Data Platform Knowledge Center
vSphere ESXi 6.0	vSphere ESXi 8.0	
vSphere ESXi 6.5	vSphere ESXi 8.0	
vSphere ESXi 6.7	vSphere ESXi 8.0	
vSphere ESXi 7.0	vSphere ESXi 8.0	オンライン移行 ・パターンA：vMotionによるバージョンアップ 1.1.1. vSphere ESXi 8.0環境への移行手順 - ユースケース ユースケース Smart Data Platform Knowledge Center
vSphere ESXi 8.0	vSphere ESXi 8.0	

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■ミドルウェア

- データ移行を実施する際にArcserve Unified Data Protection (以下、Arcserve UDP) を利用しない場合、移行元に展開したミドルウェア/ライセンスは新規にインストールする必要がございます。各サーバーの移行方針をご確認ください。

	物理サーバー / ベアメタルサーバー	ハイパーバイザー / vSphere	仮想サーバー / サーバーインスタンス
Oracle	移行方針：データ移行 ・ 仮想サーバーのページを参照、仮想サーバーをベアメタルサーバーに読み替えて実施	ハイパーバイザーのページを参照 (追加作業不要：ハイパーバイザーの移行とともに移行)	移行方針：リサイズ&リタイプ ・ 追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
	移行方針：バックアップ&リストア ・ 追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ・リストアで移行）		移行方針：データ移行 再インストールを実施
SQL Server	提供無し		移行方針：リサイズ&リタイプ ・ 追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
			移行方針：データ移行 再インストールを実施
Arcserve Unified Data Protection	再インストールを実施 Arcserve UDP 8.x から 9.x へのアップグレード手順 Arcserve UDP 8.xおよび9.x からArcserve UDP 10.0 へのアップグレード手順 Arcserve UDP 9.xを用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例 Arcserve UDP 10.0を用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例		移行方針：リサイズ&リタイプ ・ 追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
			移行方針：データ移行 再インストールを実施 Arcserve UDP 8.x から 9.x へのアップグレード手順 Arcserve UDP 8.xおよび9.x からArcserve UDP 10.0 へのアップグレード手順 Arcserve UDP 9.xを用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例 Arcserve UDP 10.0を用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■ミドルウェア

- データ移行を実施する際にArcserve Unified Data Protection (以下、Arcserve UDP) を利用しない場合、移行元に展開したミドルウェア/ライセンスは新規にインストールする必要がある場合がございます。各サーバーの移行方針をご確認ください。

	物理サーバー / ベアメタルサーバー	ハイパーバイザー / vSphere	仮想サーバー / サーバーインスタンス
HULFT	移行方針：データ移行 ・ 再インストールを実施	ハイパーバイザーのページを参照 (追加作業不要：ハイパーバイザーの移行とともに移行)	移行方針：リサイズ&リタイプ ・ 追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
	移行方針：バックアップ&リストア ・ 追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ・リストアで移行）		移行方針：データ移行 ・ 追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ・リストアで移行）
Windows Server Remote Desktop Services SAL	提供無し	提供無し	移行方針：リサイズ&リタイプ ・ 追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行） 移行方針：データ移行 再インストールを実施

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■バックアップ

データ移行を実施する際にArcserve UDPを利用しない場合、移行元に展開したアプリケーションは新規にインストールする必要がある場合がございます。各サーバーの移行方針をご確認ください。

	物理サーバー / ベアメタルサーバー	ハイパーバイザー / vSphere	仮想サーバー / サーバーインスタンス
Arcserve Cloud Direct	移行方針：データ移行 ・再インストールを実施 9. Arcserve Cloud Direct環境構築手順書 - ユースケース ユースケース Smart Data Platform Knowledge Center	ハイパーバイザーのページを参照 （追加作業不要：ハイパーバイザーの移行とともに移行）	移行方針：リサイズ&リタイプ ・追加作業不要 （仮想サーバー移行とともに移行）
	移行方針：バックアップ&リストア ・追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ・リストアで移行）		移行方針：データ移行 ・追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ&リストアで移行）

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■ストレージ

メニュー	移行方針
ブロックストレージ	再構築・複製
ファイルストレージ	再構築・複製
Wasabiオブジェクトストレージ	移行不要

■セキュリティ

	物理サーバー / ベアメタルサーバー	ハイパーバイザー / vSphere	仮想サーバー / サーバーインスタンス
Managed Anti-Virus	ベアメタルサーバーの移行に併せてアンインストール→インストールにて移行	ハイパーバイザーの移行に併せてアンインストール→インストールにて移行	移行方針：リサイズ&リタイプ ・追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
			移行方針：データ移行 アンインストール→インストールにて移行
Managed Virtual Patch	ベアメタルサーバーの移行に併せてアンインストール→インストールにて移行	ハイパーバイザーの移行に併せてアンインストール→インストールにて移行	移行方針：リサイズ&リタイプ ・追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
			移行方針：データ移行 アンインストール→インストールにて移行
Managed Host-based Security Package	ベアメタルサーバーの移行に併せてアンインストール→インストールにて移行	ハイパーバイザーの移行に併せてアンインストール→インストールにて移行	移行方針：リサイズ&リタイプ ・追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
			移行方針：データ移行 アンインストール→インストールにて移行

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■パートナークラウド

メニュー	移行方針
Power Systems	Power SystemsのIBMi/AIXメニューの移行作業およびコロケーション接続はお客様作業不要 (ただしコロケーション接続移行時に断が発生) LANコンソール用のサーバーインスタンスはお客様での移行が必要
Hybrid Cloud with Microsoft Azure	移行不要
Hybrid Cloud with GCP	移行不要
Hybrid Cloud with AWS	移行不要

■プラットフォームサービス

メニュー	移行方針
Enterprise Cloud for ERP	移行不要
IaaS Powered by VMware	移行不要

サービスごとの移行方法について

■相互接続/関連サービス

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

メニュー	移行方針
インターネット接続ゲートウェイ	弊社作業にて移行 ※移行に伴うグローバルIPアドレスの変更はございません
Flexible InterConnect接続ゲートウェイ	弊社作業にて移行
FICエントリーパック	FIC接続への再構築 FIC Entry Pack接続からFIC接続への移行手順 - クラウド/サーバー Flexible InterConnect接続ゲートウェイ チュートリアル Smart Data Platform Knowledge Center
コロケーション接続	お客様コロケーションラック内で旧環境から新環境へのケーブルの差し替え
リージョン間接続	弊社作業にて移行
テナント間接続	仮想サーバー/ファイアウォールを同一のOSへツールにて移行する場合は不要 仮想サーバー/ファイアウォールを異なるOSへ移行する場合、移行後にお客様にて新規にテナント間接続の作成が必要 ベアメタルサーバー利用の場合は、新規でテナント間接続の作成が必要
docomo MEC接続ゲートウェイ	JP5提供無し
DNS	弊社作業にて移行

サービスごとの移行方法について

■クラウド/サーバー ローカルネットワーク

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

メニュー	移行方針
ロジカルネットワーク	弊社作業にて移行
共通機能ゲートウェイ	弊社作業にて移行
ロードバランサー	12.0-53.13を利用の場合は、 新基盤にて最新バージョンの再構築により移行 異なるバージョン間の切替について - ロードバランサー チュートリアル Smart Data Platform Knowledge Center
	プラン変更を実施
Managed Load Balancer	弊社作業にて移行

■クラウド/サーバー ネットワークセキュリティ

メニュー	移行方針
ファイアウォール	15.1X49-D105.1 および 19.2R1.8を利用の場合は、 新基盤にて最新バージョンの再構築により移行 異なるバージョン間の切替 - ファイアウォール チュートリアル Smart Data Platform Knowledge Center
	再配置を実施
Managed Firewall	プラン変更を実施
Managed UTM	プラン変更を実施
Managed WAF	プラン変更を実施

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■参考：新基盤（JP5）で提供されないメニュー

- ・以下は、設備更改に伴い、新基盤では提供しないサービスの一覧および理由・想定の移行方法です。
- ・サポート終了済みのメニューのに関しては、アップデートをお願いいたします。

メニュー	メニュー詳細		該当バージョン	製品のEOL※ ¹	廃止理由	移行方針
サーバーインスタンス	Compute Volume		— (V1)	—	パフォーマンスの良い後継メニュー提供の為	リサイズ&リタイプ
ファイルストレージ	Standard		— (V1)	—		再構築・複製
ブロックストレージ	Storage Snapshot		— (V1)	—		
相互接続/関連サービス	Flexible Inter Connect 接続ゲートウェイ	エントリーパック	—	—		設備更改完了時期までにサービス終了予定(2027/3/1)のため
サーバーインスタンス	OS	Windows Server	Windows Server 2012 R2以前	2023/10/10	該当の製品がEOLを迎えており、新基盤で動作しない為	最新版、もしくは、Windows Server 2019以降へデータ移行
ミドルウェア/ライセンス	Windows Server Remote Desktop Services SAL		Windows Server 2012			2024/7/9
	SQL Server		SQL Server 2014	2024/6/30		
	Oracle For Virtual Server Menu	Oracle EE for Linux	—			2023/10/10
		Oracle SE2 for Linux	—	2023/10/10		
	Oracle EE for Windows	Windows Server 2012	2023/10/10			
	Oracle SE2 for Windows	Windows Server 2012	2023/10/10			

※¹：製品のEOLとは、提供元の該当製品のEOLを指し、提供およびサポートが出来なくなる日付を指します

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■参考：新基盤（JP5）で提供されないメニュー

- ・以下は、設備更改に伴い、新基盤では提供しないサービスの一覧および理由・想定の方法です。
- ・サポート終了済みのメニューのに関しては、アップデートをお願いいたします。

メニュー	メニュー詳細		該当バージョン	製品のEOL※ ¹	廃止理由	移行方針
ベアメタルサーバー	Server	General Purpose 1-3	v2	2023/3/1	該当の製品の 新規販売が終了している為	General Purpose 1-3 v5へデータ移行
			v3	未定		
			v4	未定		
	OS	Windows Server	Windows Server 2012 R2以前	2023/10/10	該当の製品がEOLを迎えており、 新基盤で動作しない為 設備更改完了時期までに 該当の製品がEOLとなる為 新基盤で動作しないため	最新版、もしくは、 Windows Server 2022 以降へデータ移行
			Windows Server 2016	2027/1/12		
			Windows Server 2019	2029/1/9		
		Red Hat Enterprise Linux	Red Hat Enterprise Linux 7 + Extended Life-cycle Support	2028/6/30	該当の製品がEOLを迎えており、 新基盤で動作しない為	最新版、もしくは、 RHEL8以降へデータ移行
		Ubuntu	Ubuntu 16.x	2021/4/30		
			Ubuntu 18.x	2023/5/31		
		CentOS	全てのバージョン	2024/6/30		

※¹：製品のEOLとは、提供元の該当製品のEOLを指し、提供およびサポートが出来なくなる日付を指します

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

サービスごとの移行方法について

■参考：新基盤（JP5）で提供されないメニュー

- ・以下は、設備更改に伴い、新基盤では提供しないサービスの一覧および理由・想定の移行方法です。
- ・サポート終了済みのメニューのに関しては、アップデートをお願いいたします。

メニュー	メニュー詳細	該当バージョン	製品のEOL※ ¹	廃止理由	移行方針
ハイパーバイザー	vSphere	vSphere ESXi 6.x	2023/11/15	設備更改開始時期までに該当の製品がEOLを迎える為	最新版、もしくは、ESXi 8.x以降へデータ移行
		vSphere ESXi 7.x	2025/10/2		
ミドルウェア/ライセンス	Arcserve Unified Data Protection	Arcserve Unified Data Protection (UDP) ~8.0 Advanced Edition	2025/10/31	設備更改開始時期までに該当の製品がEOLを迎え、該当バージョンがサービス終了予定(2026/10/31)の為	最新版、もしくは、Arcserve 9以降へデータ移行
ネットワークセキュリティ	ファイアウォール	vSRX 15.1X49-D105.1	2021/6/30	該当の製品がEOLを迎えており、新基盤で動作しない為	新基盤にて最新バージョンの再構築により移行
		vSRX 19.2R1.8	2022/12/26		
ローカルネットワーク	ロードバランサー	NetScaler VPX 12.0	2020/10/30	該当の製品がEOLを迎えており、新基盤で動作しない為	新基盤にて最新バージョンの再構築により移行

※¹：製品のEOLとは、提供元の該当製品のEOLを指し、提供およびサポートが出来なくなる日付を指します

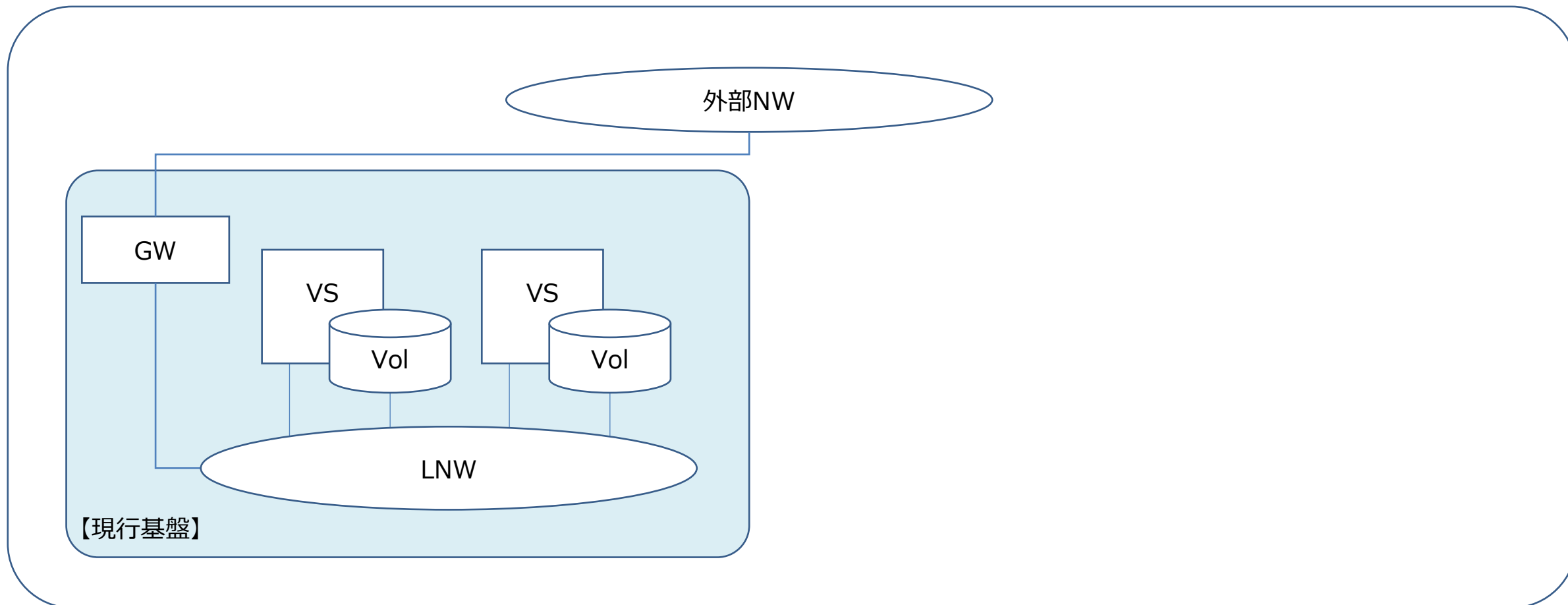
パターン別移行ステップ

- 移行したい環境・サービスに応じて、以下の3パターンがございます。
 - * お客様にツールを用いて移行作業をしていただく必要があるパターン
 - * お客様に再構築していただく必要があるパターン
 - * お客様にツールを用いて移行、およびお客様に再構築していただく必要があるパターン
- それぞれのパターンに応じた概略的な構成イメージを以降のスライドにて紹介いたします。
- 詳細については、各詳細手順をご参照ください。

パターン別移行ステップ

■ ツールを利用して移行するパターン

- ・ 移行前の構成イメージです。

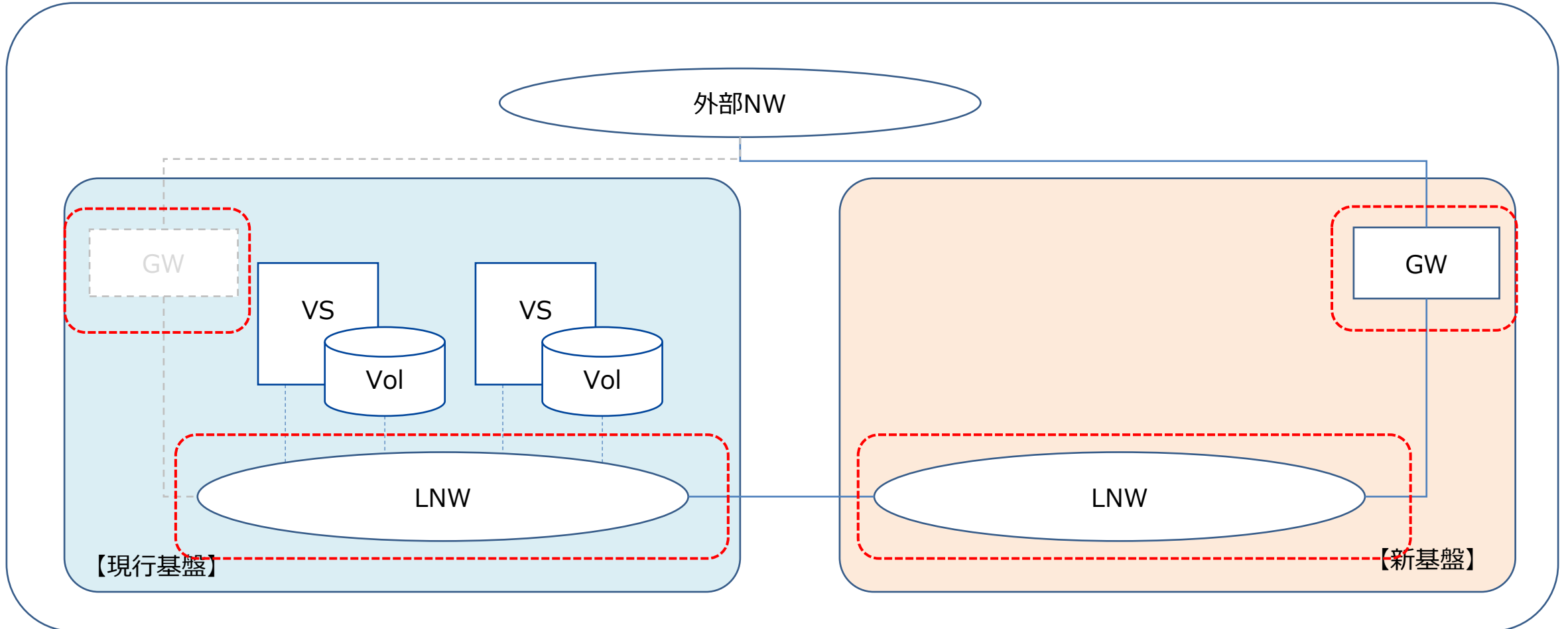


【凡例】GW : Gateway VS : 仮想サーバー Vol : ボリューム LNW : ロジカルネットワーク

パターン別移行ステップ

■ツールを利用して移行するパターン

- 新基盤提供開始後、ロジカルネットワークの新基盤への延伸、ゲートウェイメニューの移行を弊社にて順次実施します。
(定期メンテナンスとして実施)

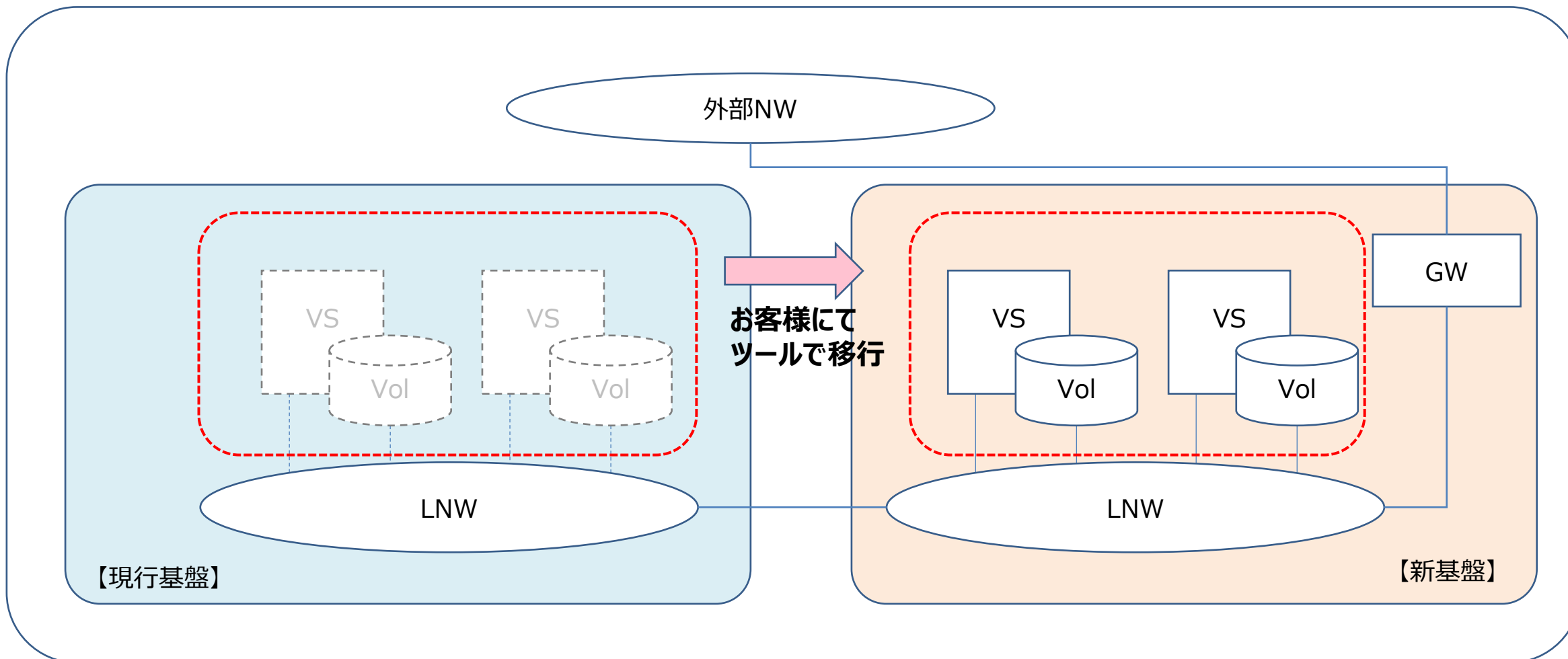


※本ページと次ページの順序については、お客様の移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

パターン別移行ステップ

■ツールを利用して移行するパターン

- お客様にて、SDPFポータルから移行ツールを用い、各リソースの移行作業を実施します。

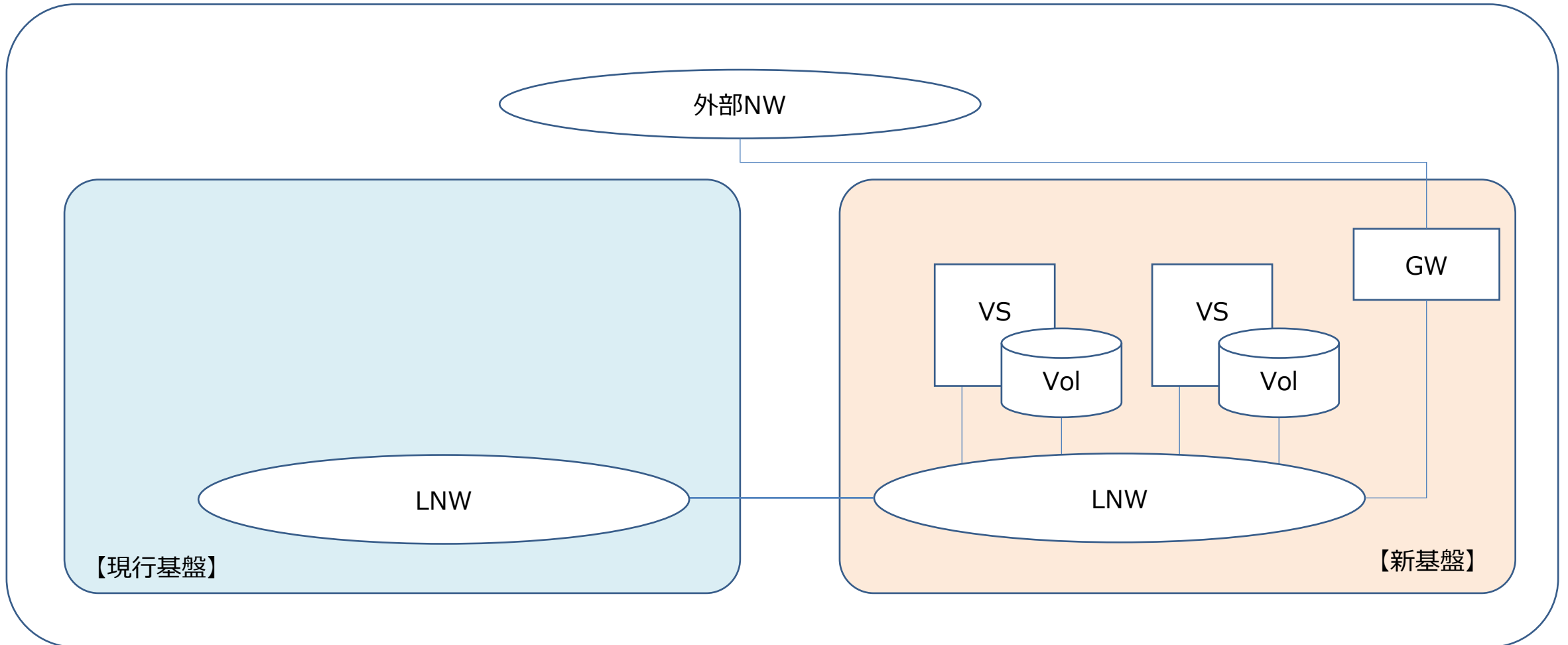


※前ページと本ページの順序については、お客様の移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

パターン別移行ステップ

■ ツールを利用して移行するパターン

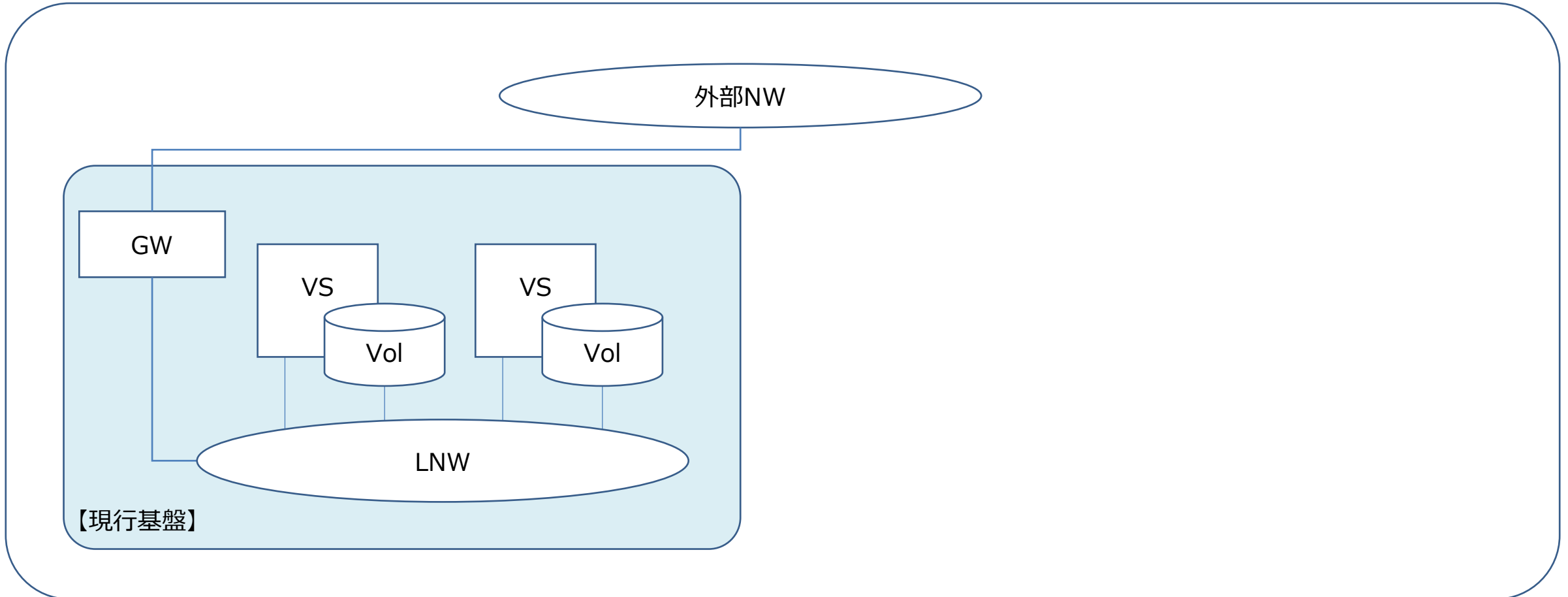
- ・ 移行完了後の構成イメージです。



パターン別移行ステップ

■お客様による手動移行のパターン

- ・ 移行前の構成イメージです。

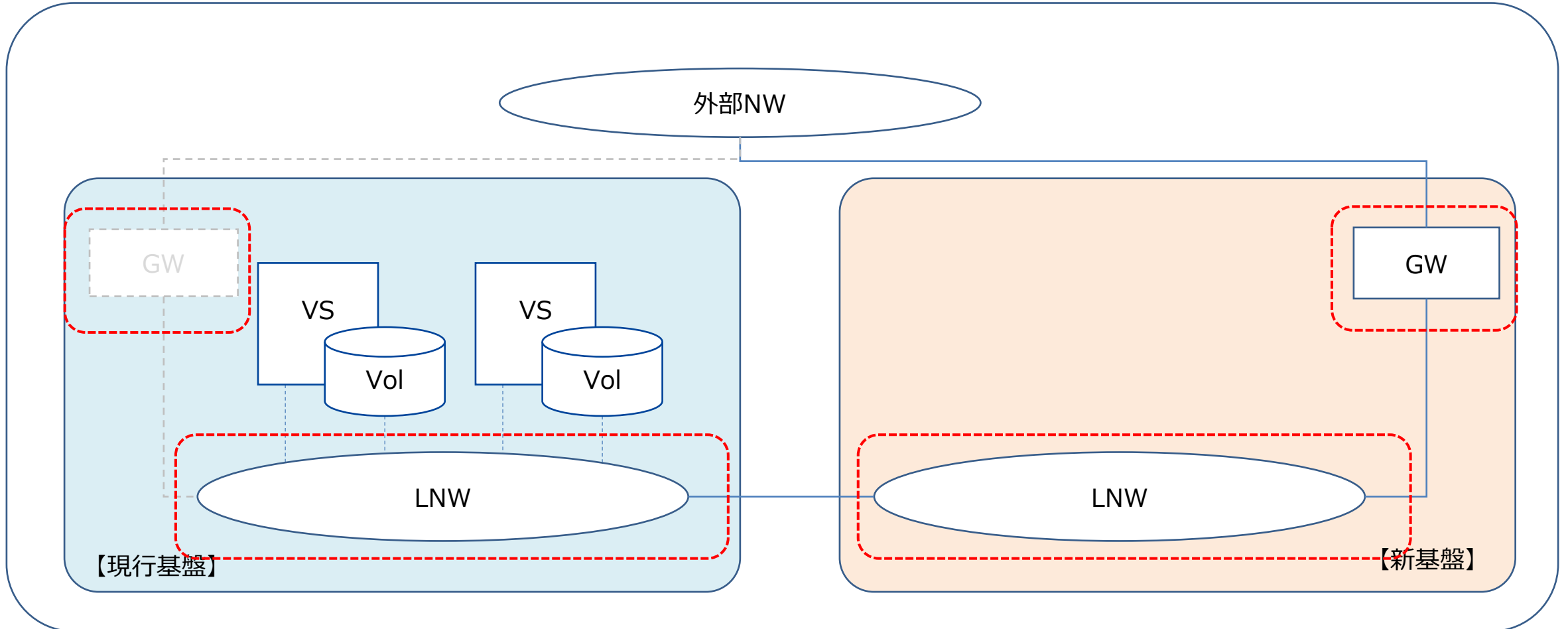


【凡例】GW : Gateway VS : 仮想サーバー Vol : ボリューム LNW : ロジカルネットワーク

パターン別移行ステップ

■お客様による手動移行のパターン

- 新基盤提供開始後、ロジカルネットワークの新基盤への延伸、ゲートウェイメニューの移行を弊社にて順次実施します。
(定期メンテナンスとして実施)

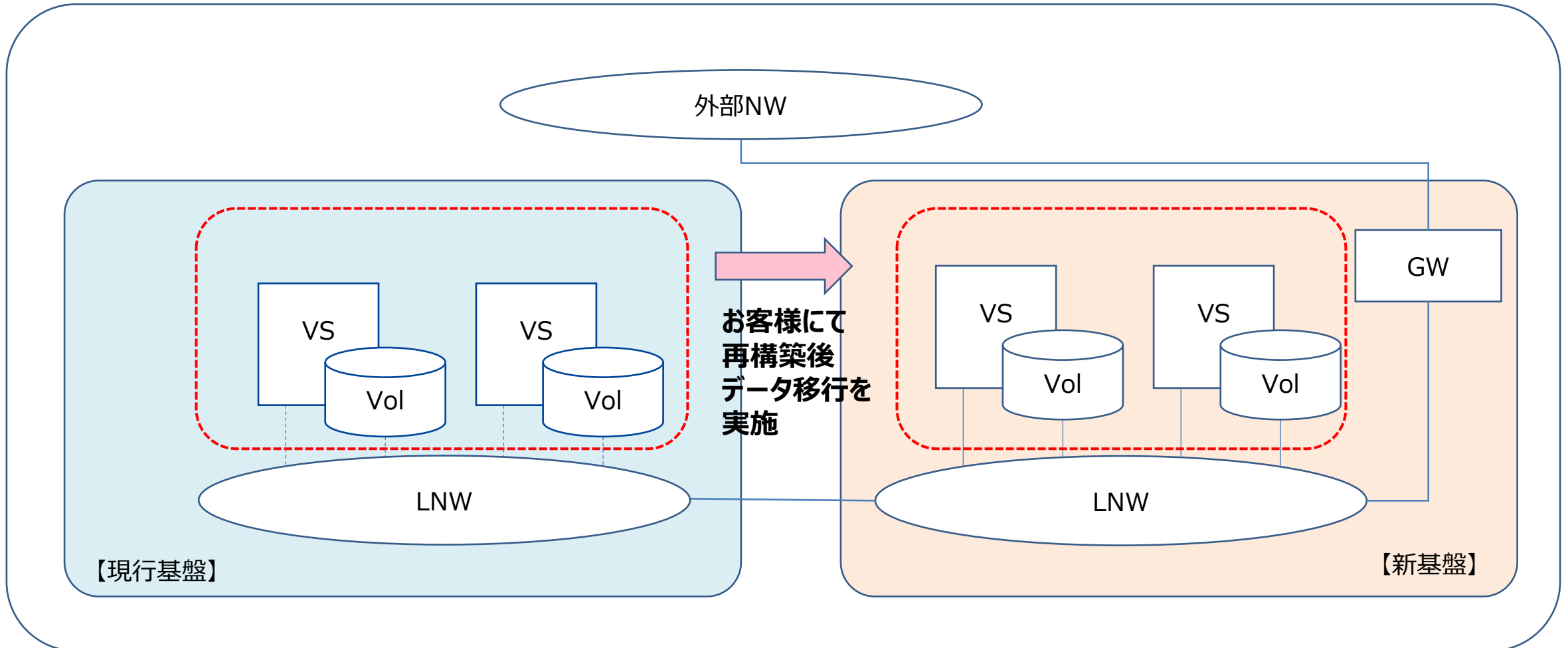


※本ページと次ページの順序については、お客さまの移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

パターン別移行ステップ

■お客様による手動移行のパターン

- お客様にて各リソースの再構築、データ移行を実施します。

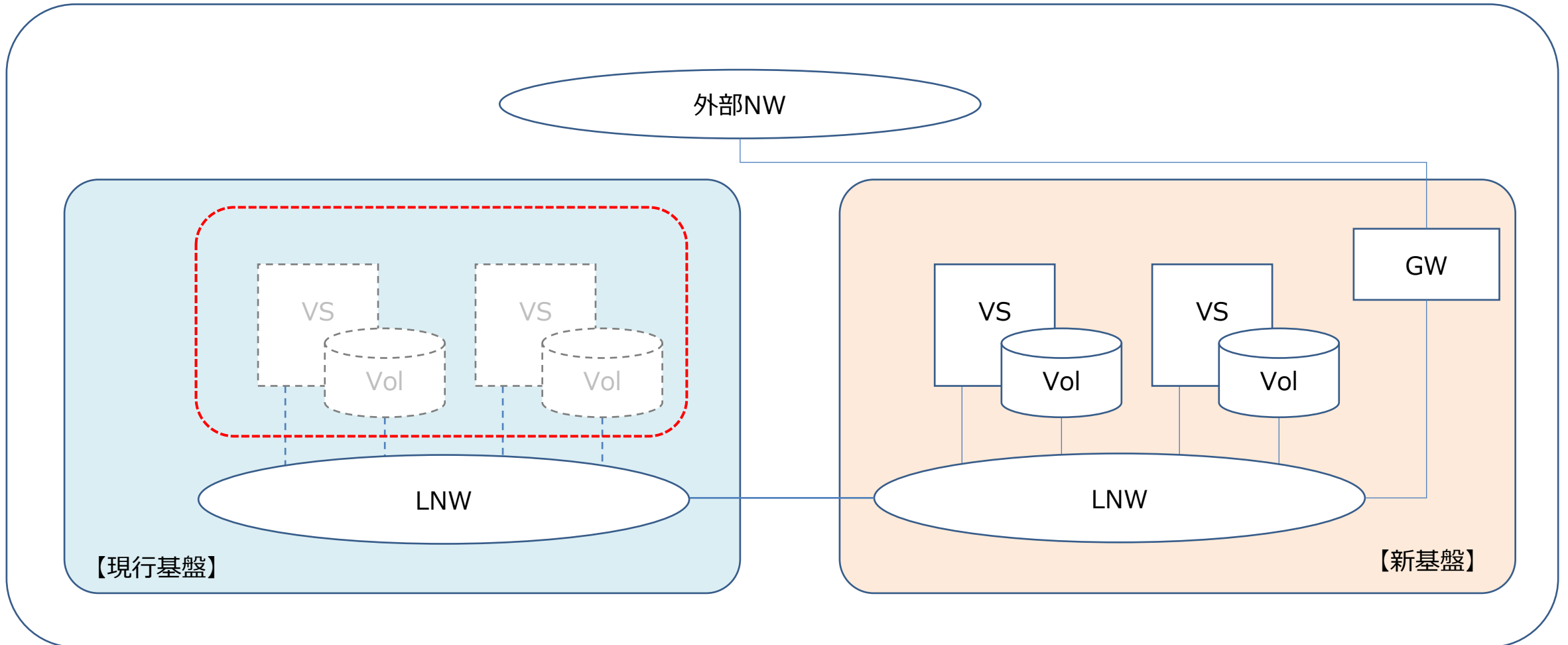


※前ページと本ページの順序については、お客様の移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

パターン別移行ステップ

■お客様による手動移行のパターン

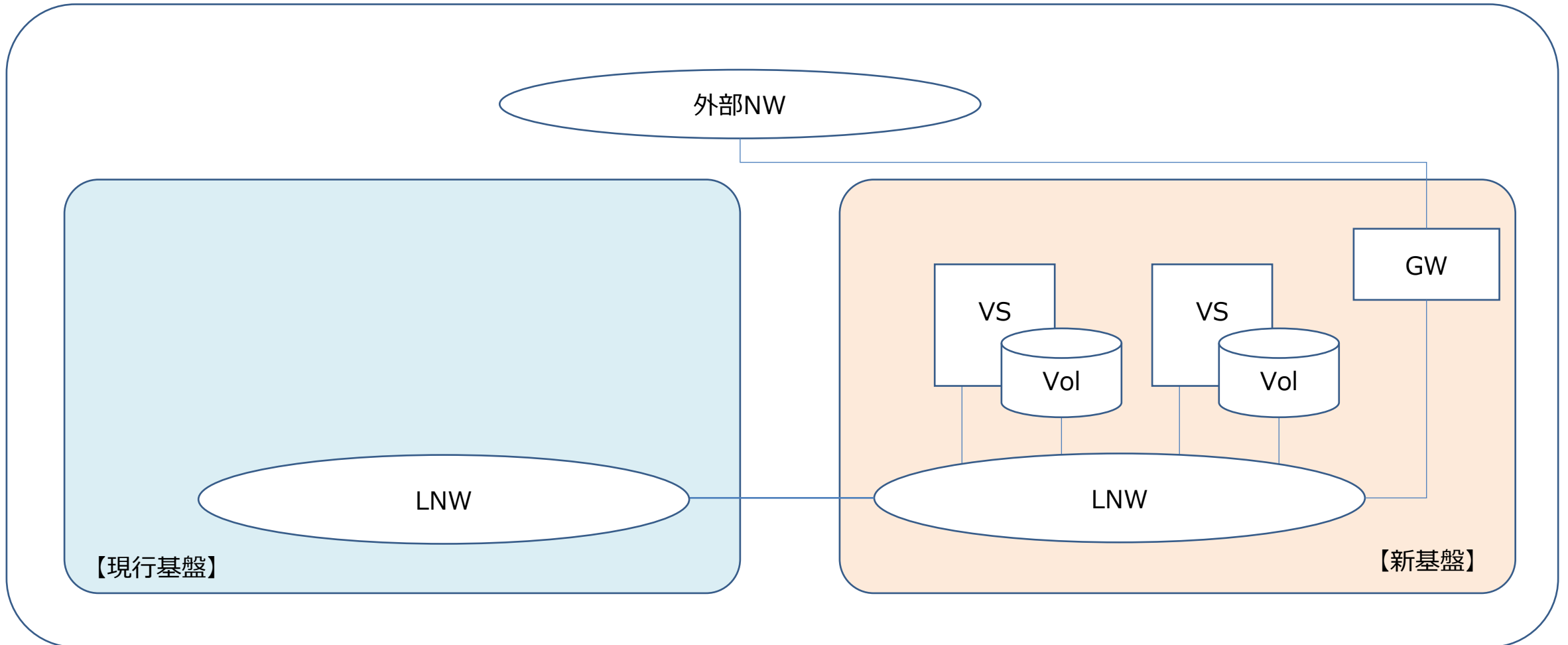
- ・ 移行完了後に現行基盤上のリソースを削除します。



パターン別移行ステップ

■お客様による手動移行のパターン

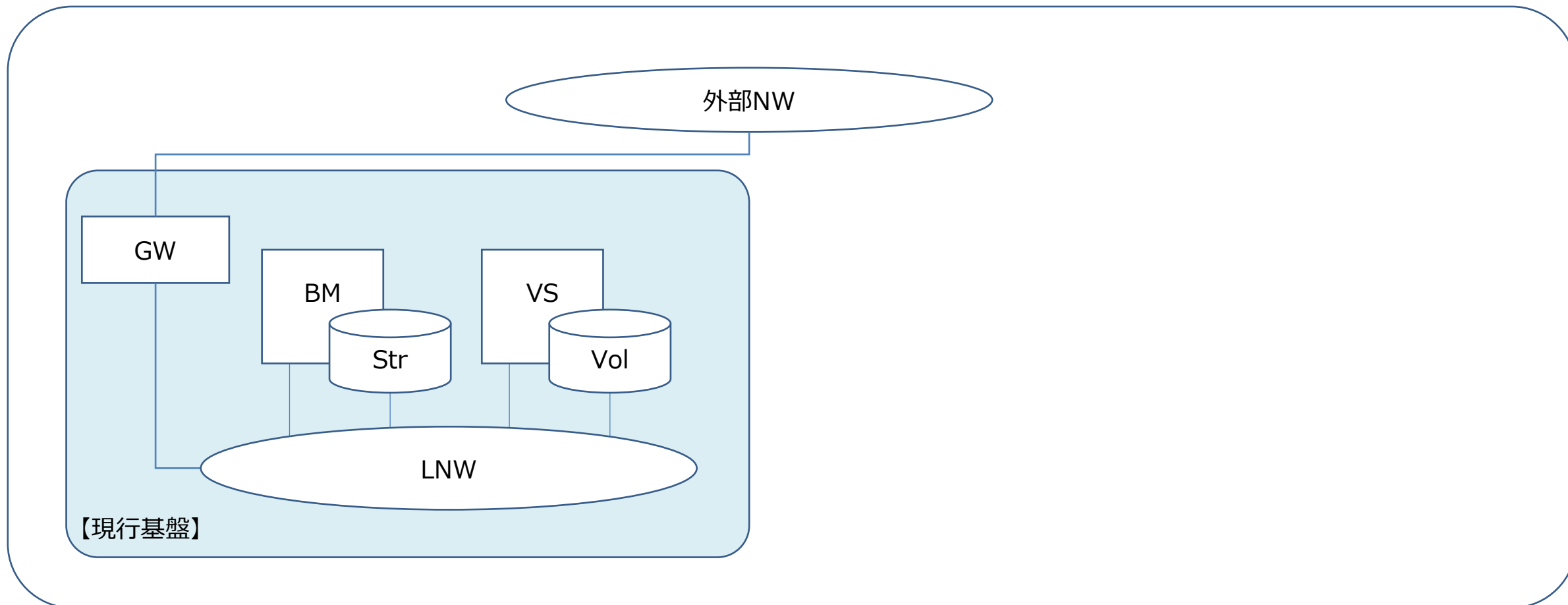
- ・ 移行完了後の構成イメージです。



パターン別移行ステップ

■ ツールおよび手動移行併用のパターン

- ・ 移行前の構成イメージです。

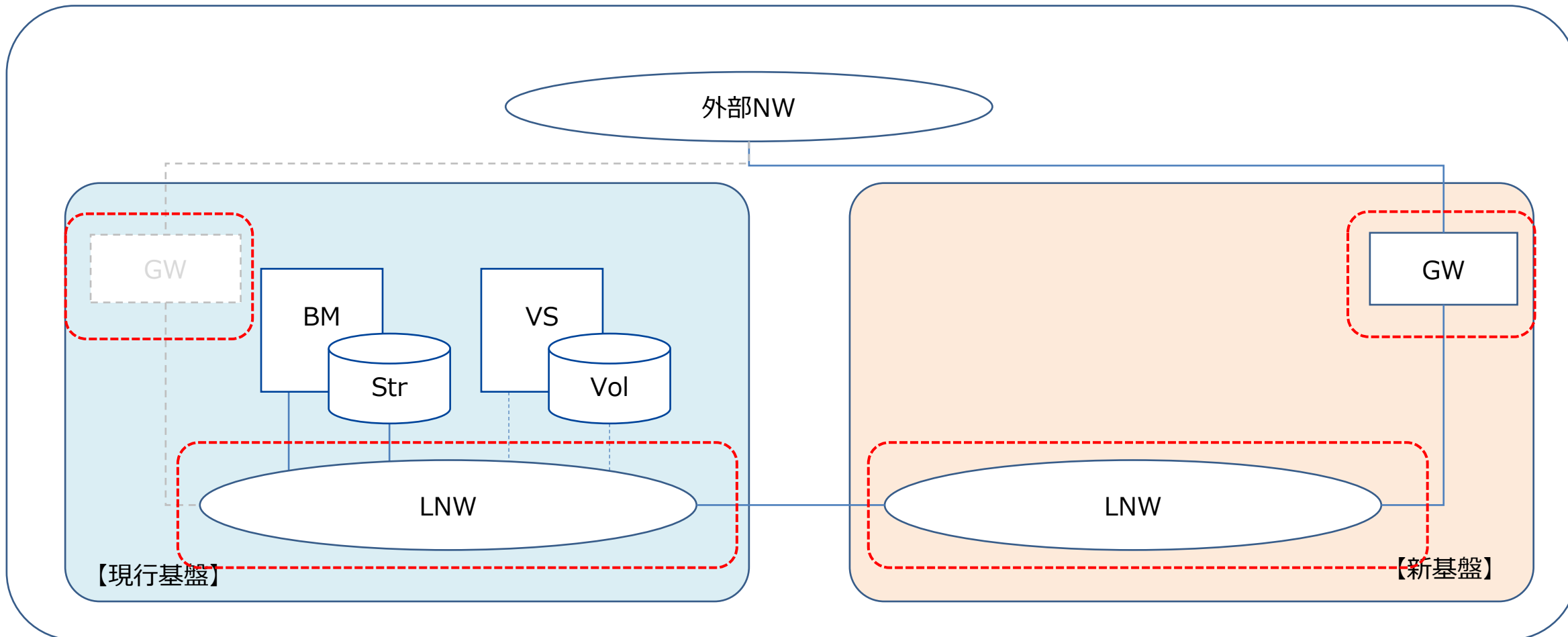


【凡例】GW : Gateway VS : 仮想サーバー Vol : ボリューム Str : ストレージ LNW : ロジカルネットワーク BM : ベアメタルサーバー

パターン別移行ステップ

■ ツールおよび手動移行併用のパターン

- 新基盤提供開始後、ロジカルネットワークの新基盤への延伸、ゲートウェイメニューの移行を弊社にて順次実施します。
(定期メンテナンスとして実施)

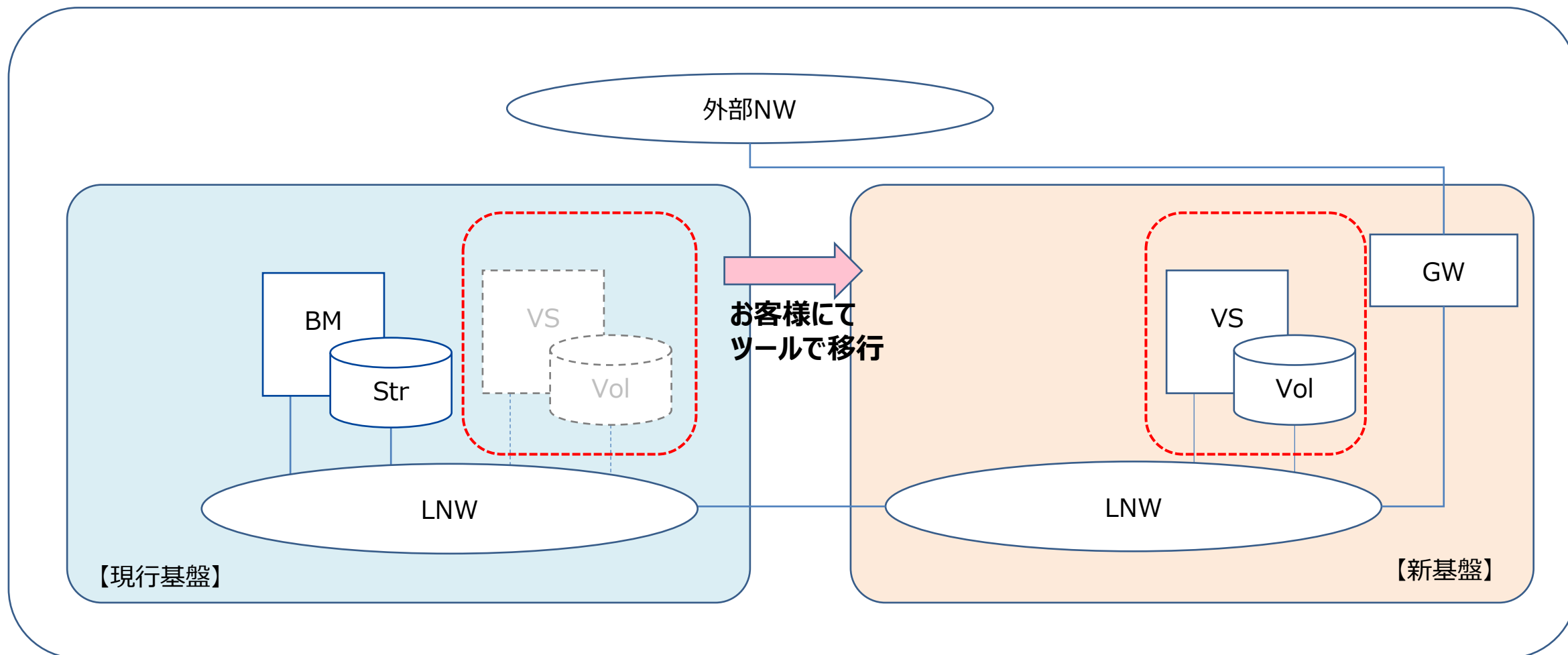


※本ページと次ページの順序については、お客様の移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

パターン別移行ステップ

■ツールおよび手動移行併用のパターン

- お客様にて、SDPFポータルから移行ツールを用い、各リソースの移行作業を実施します。

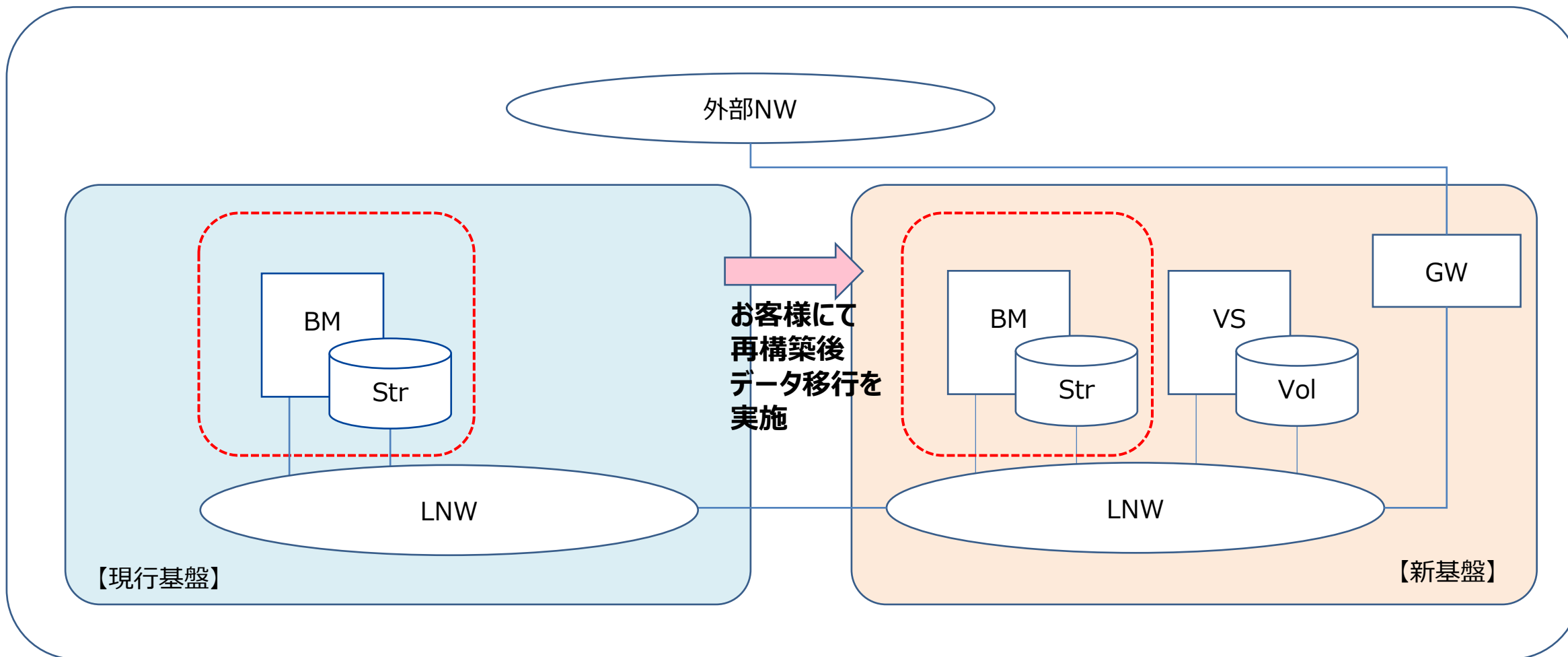


※前ページと本ページの順序については、お客様の移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

パターン別移行ステップ

■ ツールおよび手動移行併用のパターン

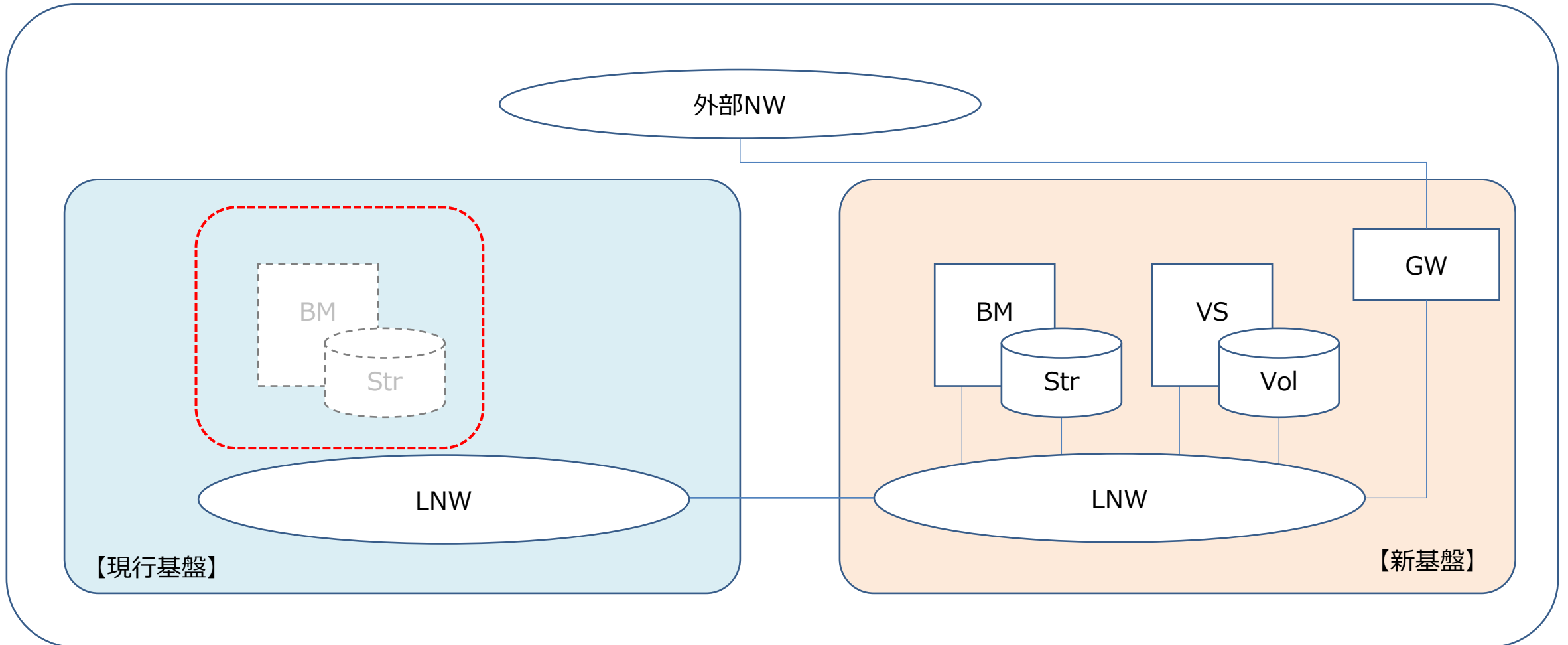
- お客様にて各リソースの再構築、データ移行を実施します。



パターン別移行ステップ

■ ツールおよび手動移行併用のパターン

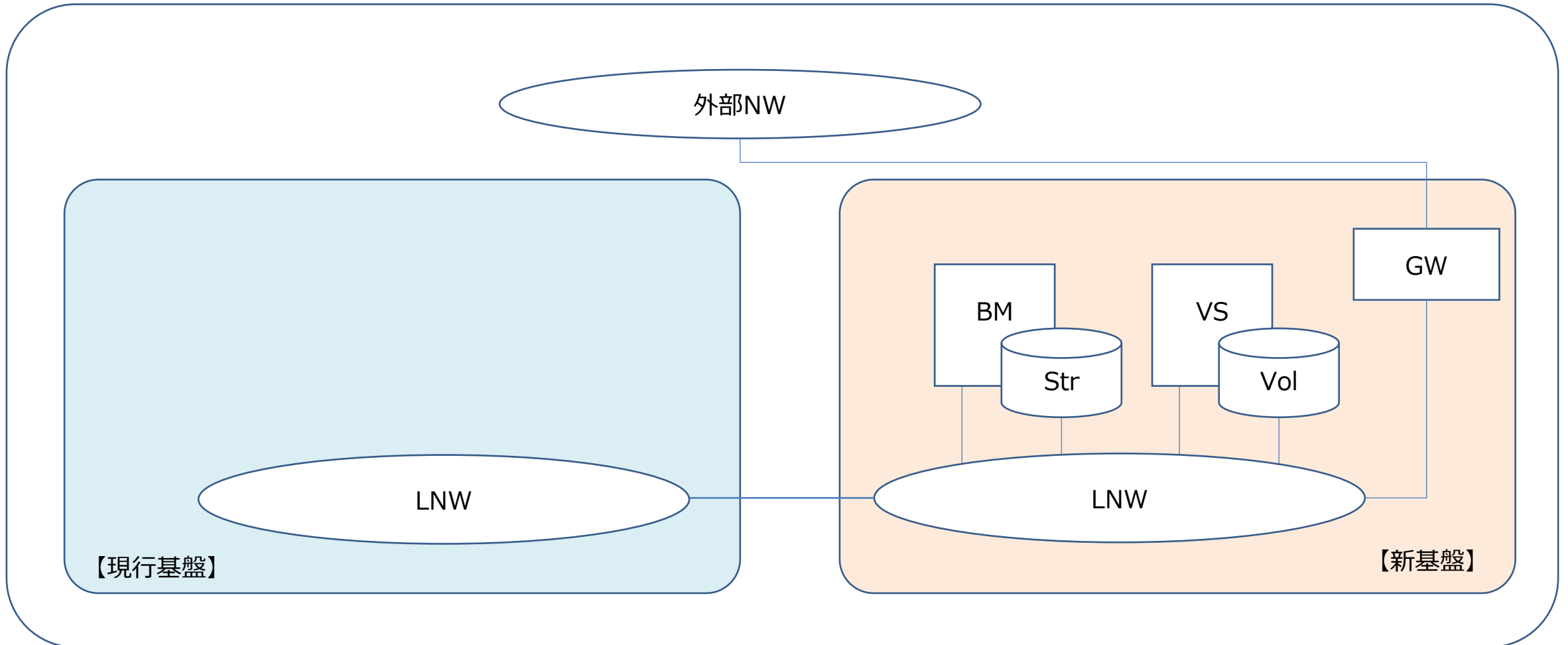
- ・ 移行完了後に現行基盤上のリソースを削除します。



パターン別移行ステップ

■ ツールおよび手動移行併用のパターン

- ・ 移行完了後の構成イメージです。



つなごう。驚きを。幸せを。

 ^{NTT} docomo **Business**